

(5) リハビリテーション

現状及び社会情勢

- 地域において、それぞれの状態に応じた適切なリハビリテーションを予防、治療の段階から切れ目なく一体的に提供するには、関係機関の連携により保健・医療・福祉サービスを総合的に提供する必要があります。
- 介護予防を効果的に推進するため、関係機関との連携を推進し、地域の実情に応じて機能訓練事業等を促進することにより、適切なリハビリテーション提供体制の整備を進める必要があります。

重点目標

脳卒中や他の疾病等が原因で、寝たきりになる者の減少

評価指標	策定期値 (H13)	現状値 (H18)	目標値
健康増進事業等により、40歳以上を対象とする機能訓練事業を実施する市町村数	—	17/35 市町村	全市町村

目標達成のために必要な取組

- ◆ 対象者把握の体制整備
- ◆ 関係機関との連携強化
- ◆ 機能訓練事業等の事業内容の充実



« 関係機関の役割分担及び連携方策 »

市町村・医療機関	<ul style="list-style-type: none">● 相談窓口の明確化● 効果的な事業実施● 関係事業との連携
県	<ul style="list-style-type: none">● 脳卒中情報システム事業の活用● 地域リハビリテーション支援体制推進事業の実施● 市町村が実施する健康増進事業への支援

～リハビリテーションの意義～

脳卒中等の疾病や外傷、老化等により心身の機能が低下している方は、適切なリハビリテーションを行うことで、心身機能の維持や回復が図られ、QOL（生活の質）の向上や社会参加につながり、その人らしい生活を送ることができます。このようなリハビリテーションを提供する環境を整えることで、高齢者や障害者の介護予防や健康づくりを推進します。

【地域リハビリテーションとは】

単なる機能回復訓練ではなく、高齢者や障害者の全人間的復権を理念として、潜在する能力を最大限に発揮させ、生活機能全体（生命・生活・人生）の維持と向上を目指すもの。

高齢者リハビリテーションの基本的な考え方 ①高齢者の態様に応じた対応 ②廃用症候群対策の重視 ③生活を支える目標 ④個別的・総合的な提供 ⑤評価に基づく計画的な提供 ⑥地域における提供体制整備 ⑦質の確保 ⑧基盤整備

「高齢者リハビリテーションのあるべき方向（高齢者リハビリテーション研究会）」より

リハビリテーション分野目標及び取組等一覧

〔実現目標〕 1 脳卒中や他疾患が原因で、寝たきりになる者の減少

望ましい姿	評価指標	項目	H22実行計画策定時			
			指針策定時	現状値	H22目標値	目標設定の理由
(1)脳卒中や他疾患を発症しても住み慣れた地域でリハビリテーションを継続できる場がある	1 健康増進事業、市町村単独事業又は介護予防一般高齢者施策において、40歳以上を対象とする機能訓練事業を実施する市町村数		—	—	—	—

: 重点目標の評価指標等

H24実行計画改定					
直近現状値	目標値の国参酌標準	H24目標値	H24目標値設定の考え方	目標達成のために必要な取組	関係機関の役割分担・連携方策
(H18) 17/35市町村	—	全市町村	全市町村において実施	<ul style="list-style-type: none"> ○対象者把握の体制整備 ○関係機関との連携強化 ○機能訓練事業等の事業内容の充実 	<p>【市町村・医療機関】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○相談窓口の明確化 ○効果的な事業実施 ○関係事業との連携 <p>【県】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○脳卒中情報システム事業の活用 ○地域リハビリテーション支援体制推進事業の実施 ○市町村が実施する健康増進事業への支援

※H18直近現状値は老人保健事業における機能訓練事業を実施する市町村を計上。
他事業における機能訓練事業の実施状況については、H20年度以降把握する。